

第5学年 総合的な学習の時間

まつさかしりつだいやんしょうがっこう
松阪市立第四小学校

【学習目標】

- 総合的な学習として他の教科とのつながりをとらえ、広い視野を持って課題に取り組むことができる。
- 実生活の中から問いを見つけ出し、進んで情報を集めたり整理したりすることで解決し、それらを表現することができる。
- 自分自身の姿を見つめ、なかまとより良く関わろうとすることができる。



【学習を進めるにあたって】

使用教材	
副教材	「郷土の偉人を知る 松浦武四郎」(タブレット) 防災ノート

持ち物	
総合ファイル	防災ノート 筆箱 下敷き タブレット

【学習の約束】

- 授業では、気づいたこと等をワークシートに工夫して書きましょう。
- ワークシートなどの提出期限を守りましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

【学習内容】

前期	後期
・「ユニバーサルデザイン」 4年生で学習した「ユニバーサルデザイン」についての学習をさらに深める。自分たちが4年生で学んだことを振り返り、すべての人がさらに暮らしやすい街にするためには、どのようなユニバーサルデザインがあるとよいのかを考える。そして、前期の最後に実際の施設を見学に行き、自分たちが考えたユニバーサルデザインが、実際に役に立ちそうか検証する。	・「ユニバーサルデザイン」 前期に考え、見学した検証結果をまとめ、学習発表会にのぞむ。 ・「防災について考える」 大地震、台風、風水害の災害が起こったときに予想される危険や身の守り方を考え、身を守る行動を意識する。 ・「6年生を送る会」 これまでお世話になった6年生への感謝の気持ちを表す会の内容を考えたり、心を込めてプレゼントをつくらったりするを通して、次の学校のリーダーとしての自覚を持つことへとつなげる。 ・「郷土の偉人 松浦武四郎」 松浦武四郎が蝦夷地のことを調べようと決意した経緯や、アイヌの人々とのようにかかわり、どんな思いをこめて「北街道」と名付けたかについて学ぶ。そして、松浦武四郎の業績や生き方について学ぶ中

【評価の観点および場面・方法】

評価の観点		評価の場面・方法
知識・ 思考・ 表現・判断	単元全体を通して、よい点や学び、成長の様子を記述で表します。	発言・発表 授業の様子 グループ活動の様子 制作物 ワークシート ふり返り
主体的に学習に取り組む態度		